

○「運営委員会でアンケート案を検討」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第14回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年9月26日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員6名、地区代表2名、市役所: 山本主事、普及センター: 寺岸副主査、農業会議: 多田課長
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 今回、初めて、普賢寺地区連絡会運営委員会が開催され、委員以外に2名の地区代表が出席した。
- 市から京力農場プランの作成に係るアンケート案が提出され、各委員から、言葉がむずかしい、具体的な施策を盛り込むべきだ等意見が出された。結局、各自の思いを現アンケート案に加除修正することとなった。
- ①農振の見直しに係る地図の色塗りは各区で順次進めること、②各委員がアンケート案を検討し、次回の農業委員会に持ち寄ること、③景観形成作物の実証ほを各区1か所設置するため、場所、品目等その内容を決めること、となった。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援